

ICT活用事例【数学科】

導入段階での活用

活用事例1 《タブレットのカメラを使って、事象をつかませる》

【活用の狙い】 興味関心をつかませる

- 【実践の流れ】
- ① ボールがどのように落下するか予想する。
 - ② 連写機能を使って、実際にボールが落下する様子を撮影する。
 - ③ 一定の時間間隔でどのように落下しているかを見て、加速しながら落ちることを確認し、それを新たな関数と捉える。

活用事例2 《インターネットの電卓を使用》

【活用の狙い】 生徒の理解、思考を深める

- 【実践の流れ】
- ① ロイロノートのウェブ上で、「電卓」と検索させる。
 - ② 電卓が表示されるので、それを使って計算処理させる。
 - ③ 電卓機を配付・回収する手間が省けるので、時間短縮できる。



展開段階での活用

活用事例3 《ロイロノートを活用した知識の定着》

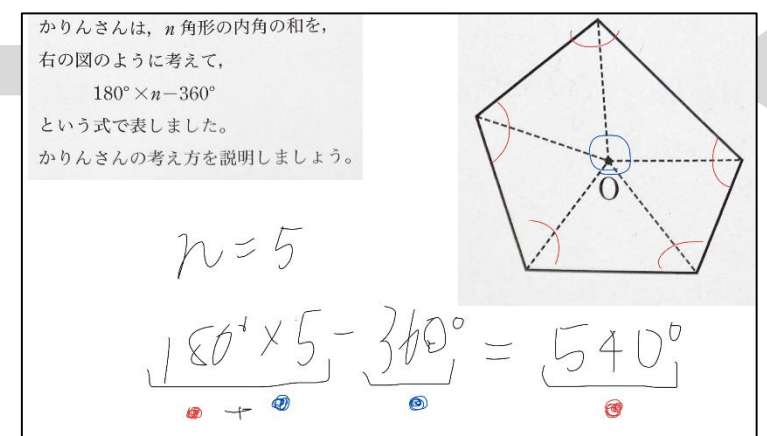
【活用の狙い】 生徒の理解、思考を深める・知識の定着を図る

- 【実践の流れ】
- ① ロイロノートで、知識・技能の定着を図るための様々な難易度の問題をカードで作成（フリー教材などを活用）し、生徒に配付。
 - ② 生徒は難易度の低い問題から順に解き、解いたら提出する。教師が丸付けし、返却する。正解したら次の問題に進む。
 - ③ これを繰り返し、躓きの多い問題は全体で解説する。

活用事例4 《ホワイトボードの代用》

【活用の狙い】 わかりやすく説明する

- 【実践の流れ】
- ① ロイロノートで、学習課題のカードを配る。
 - ② 言葉、図、式などを使って、生徒が自分の考えを書き込み提出する。
 - ③ 「生徒発表」の機能で複数の生徒に発表させ、様々な考え方や表現を全体で共有する。

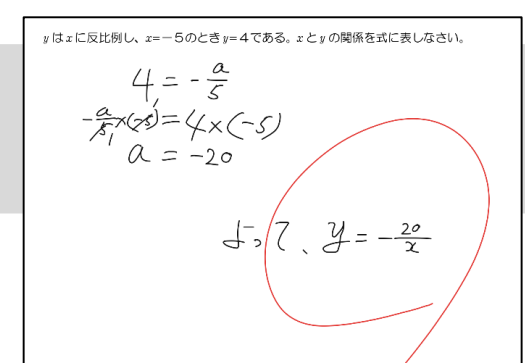


終末段階での活用

活用事例5 《評価テスト》

【活用の狙い】 知識の定着を図る

- 【実践の流れ】
- ① ロイロノートで、知識・技能が習得できたかどうかを評価するための問題（2～3問程度）をカードで作成し配付する。
 - ② 生徒はそれを解き、できたら提出する。
 - ③ 丸付けをし、生徒の理解度を確認したら返却し、必要に応じて次時で補充する。



活用事例6 《グラフアート》

【活用の狙い】 生徒の理解、思考を深める

- 【実践の流れ】
- ① ロイロノートから、グラフソフトのページに入らせる。
 - ② 関数についての習得した知識・技能を活用して自由にグラフアートを作成させる。

